

11月は「児童虐待防止推進月間」です

現在、児童虐待に関する相談対応件数は依然として増加傾向にあり、特に子どもの生命が奪われるなどの重大な事件が後を絶たず、児童虐待は社会全体で解決すべき重要な問題となっています。児童虐待の発生予防、発生時の迅速・的確な対応から虐待を受けた子どもの保護・自立支援まで、切れ目のない総合的な対策をさらに進めることが必要です。

厚生労働省では、毎年11月を



児童虐待は社会全体で解決すべき問題です。あなたの1本のお電話で救われる子どもがいます。

児童虐待かもと思ったらすぐにお電話ください。

いち はやく
189

連絡は匿名で行うことも可能です。
連絡者や連絡内容に関する秘密は守られます。

お住まいの地域の児童相談所につながります。

※一部の児童相談所には対応していません。※通話料がかかります。



出産や子育てに関する悩みや質問がある方は、児童相談所・市町村へお気軽にご相談ください。

「児童虐待防止推進月間」と定め、児童虐待問題に対する社会的関心の喚起を図るため、集中的な広報・啓発活動を実施しています。

児童虐待防止推進月間における各種行事や関係機関・関係団体等による取り組みは、厚生労働省のホームページなどでお伝えしています。

児童虐待とは？

・身体的虐待…殴る、蹴る、叩く、

投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせる など
・性的虐待…子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にする など
・ネグレクト…家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かない など
・心理的虐待…言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう(DV) など

子どもを健やかに育むために「愛の鞭ゼロ作戦」

子育てにおいて、しつけと称して、叩いたり怒鳴ったりすることは、子どもの成長の助けにならないばかりか、悪影響を及ぼしてしまう可能性があります。次のポイントを心がけながら、子どもに向き合いましょう。

- 1 子育てに体罰や暴言を使わない
 - 2 子どもが親に恐怖を持つとSOSを伝えられない
 - 3 爆発寸前のイライラをクールダウン
 - 4 親自身がSOSを出そう
 - 5 子どもの気持ちと行動を分けて考え、育ちを応援
- 詳しくはこちら
<http://sukoyaka21.jp/poster>

児童相談所全国共通ダイヤル「189(いちはやく)」

児童相談所全国共通ダイヤル「189」は、虐待かもと思ったときなどに、すぐに児童相談所に通告・相談ができる全国共通の電話番号です。通告・相談は、匿名で行うこともでき、通告・相談をした人、その内容に関する秘密は守られます。虐待を受けたと思われる子どもを見つけた方、出産や子育てに関する悩みや質問がある方は、児童相談所・市区町村へお気軽にご相談ください。